

藤井義明議員

市民病院について

議員 市民病院改革プランにおけるすべての指標は達成されるのか。

市民病院管理局長 市民病院改革プランでは、経営の効率化に係る数値目標として経常収支比率、医業収支比率などの指標を定めている。患者数は目標を下回っているが、経営の効率化に係る数値目標はおおむね達成できる見通しではないかと考えている。

入札・小規模工事契約について

議員 小規模工事等契約希望者登録要綱第7条に「登録名簿に登録された者に対し、積極的に見積もり参加の機会を与えるよう努めるものとする。」とある。これはどういふ状況を指すのか
総務部長 この制度は、市が発注する工事・修繕等の



市民病院

うち、その内容が軽易なもので、契約金額が50万円未満のものを対象として、市内業者の受注機会の拡大を図るために制度化した。市内の小規模業者に工事発注等の情報を提供し、入札参加資格を有する業者と同様に小規模業者が見積もりに参加できるよう、機会の提供、拡充を図っている。

幼児教育について

議員 幼稚園の適正規模についての方針をたずねる。
教育長 笠岡市の幼児教育のあり方についての審議会からの答申の中で「1学級当たりの望ましい人数は5人以上であるが、最少人数

の基準は3人とすることが望ましい。4歳児及び5歳児の単式学級の基準は、合わせて13人以上とする。また、幼稚園の適正規模の決定に際しては、より高い教育的効果を求めて、園児数や地域バランスを考慮しながら、再編成を行っていく必要がある」とされている。今後の園児数の推移や地域事情、地域住民の思いを考慮しながら、幼稚園規模の適正化を図っていきたい。

小山明正議員

情報発信の強化について

議員 長崎県五島市が行っている「ふるさと市民制度」、
「バーチャル市民制度」を導入してはどうか。

また、ツイッターを活用して情報発信してはどうか。
市長 今後、積極的に対応していくよう検討していきたい。より効果の高い手法を研究しながら、笠岡からの情報発信に積極的に取り



組んでいきたい。私もその先頭に立って対応していかなければならないと思っています。

「住宅版エコポイント制」への市の対応について

議員 地元地域産業活性化につなげるため、市としての取り組みができないか。
市長 商工会議所と連携しながら、市民への住宅版エコポイント制度の周知を初め、エコポイントの地域産品などへの交換のPRに努めていきたい。

在宅医療廃棄物の処理体制について

議員 本市の実情と今後の対策をたずねる。

市長 注射針等の感染のおそれのあるものは医療機関に返還し処理をしてもらうこととし、それ以外の感染性が低く安全に取り扱えるものは、家庭ごみとして出してもらって市が処理することになっている。

さらに適正な処理体制を確立するため、市と医師、看護師等の関係者による協力体制を構築していきたい。

電動車いすの安全対策について

議員 電動車いす利用者への交通安全教育の必要性を感じるが、見解をたずねる。
市長 電動車いすの利用者の関係する交通事故は、道路横断中に多く発生している。今後、交通安全教室の開催、使用者に対する安全な通行方法の啓発はもとより、ドライバーに対する電動車いす使用者への配慮の周知等に取り組んでいきたい。

(注1) ツイッター…携帯電話やパソコンから140文字以内の短文(つぶやき)を投稿し合うサービス。